

**授業概要**

小学校体育の実技を通して、教材づくりと指導上のポイントを理解する授業である。また、学習したことを手掛かりとして教材研究をすることで理解の深化と統合を図るようにする。本授業は、身体活動の経験を通して知識理解を深めていく授業であり、実感しながら幼少期の子ども達に対する身体活動の組織化の手続きについて学んでいく。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション
第2回	体づくり運動+ボール運動系(ターゲット型)
第3回	体づくり運動+ボール運動系(ゴール型)
第4回	体づくり運動+ボール運動系(ネット型)
第5回	体づくり運動+ボール運動系(ベースボール型)
第6回	ボール運動系(教材発表)
第7回	体づくり運動(教材発表)+陸上運動系(走)
第8回	体づくり運動(教材発表)+陸上運動系(走)
第9回	体づくり運動(教材発表)+陸上運動系(跳)
第10回	体づくり運動(教材発表)+陸上運動系(跳)
第11回	陸上運動系(教材発表)
第12回	体づくり運動(教材発表)+器械運動系(マット)
第13回	体づくり運動(教材発表)+器械運動系(跳び箱)
第14回	体づくり運動(教材発表)+器械運動系(跳び箱)
第15回	体づくり運動(教材発表)+器械運動系(教材発表)
第16回	レポートにより学習内容の理解度を評価する。

**到達目標**

小学校体育の典型教材としての実技を通して、教材づくりができる力を育成する。具体的には、授業後に以下の力を身につけていることが到達目標である。

- ② 学校の体育で必要な学習内容にかかわる知識を身につけている。
- ② 指導をする上での基本的な教授学的知識を身につけている。

**履修上の注意**

実技を行いながらの学習になります。運動するのに相応しい服装で参加をして下さい。

**予習復習**

学習したことをノートに整理し、まとめていく。

**評価方法**

授業へ取り組み及び、グループ毎の活動発表、内容理解(形式知及び暗黙知)を総合して評価する。

- ・実技パフォーマンス 30% (技能の高さではなく、参加の仕方工夫)
- ・意欲・態度：20%
- ・発表：30%
- ・理解：30% (学習カードの記入等)

\* 授業への参加が 2/3 以上のものを評価の対象とする。

**テキスト**

特に指定しない。